

令和 2 年

安全功勞者内閣総理大臣表彰

令和 2 年 7 月 1 日

内閣府大臣官房総務課

令和2年安全功労者内閣総理大臣表彰受賞者名簿

(分野別五十音順)

(交通安全関係)

[個人]

市川	伊三武	(警察庁)
小坂	修一郎	(内閣府)
小崎	富美子	(内閣府)
高橋	哲郎	(国土交通省)
滝口	博司	(警察庁)
田中	綜一	(警察庁)
田村	一彦	(警察庁)
平井	敏彰	(警察庁)
村上	康継	(警察庁)

[団体]

越前市交通安全母の会	(内閣府)
長野市老人クラブ連合会	(内閣府)

(学校安全関係)

[団体]

愛知県半田市立亀崎小学校	(文部科学省)
茨城県高萩市立秋山小学校	(文部科学省)
大阪府大阪府立堺工科高等学校 定時制の課程	(文部科学省)
岐阜県岐阜県立可茂特別支援学校	(文部科学省)
静岡県掛川市立大須賀中学校	(文部科学省)
富山県氷見市立海峰小学校	(文部科学省)

(産業安全関係)

[団体]

日本化薬株式会社鹿島工場

(厚生労働省)

(火災予防関係)

[個人]

大橋 園子

(消防庁)

尾世 敏彦

(消防庁)

中野 美和

(消防庁)

林 忠範

(消防庁)

[団体]

一般財団法人大阪府消防防災協会

(消防庁)

井原地区危険物安全協会

(消防庁)

天満婦人防火クラブ

(消防庁)

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	警 察 庁
氏 名	いちかわ いさむ 市 川 伊三武
住 所	石川県金沢市
職 業 等	株式会社雄伸 代表取締役社長 (一般社団法人石川県安全運転管理者協議会連合会会長)
功 績 の 概 要	<p>昭和62年から、地区安全運転管理者協議会の役員として、事業所における交通安全活動に取り組み、平成13年5月からは、石川県安全運転管理者協議会連合会会長に就任し、事業所における交通事故防止活動の運営に尽力した。</p> <p>特に、各事業所に対して、シートベルト着用促進に向けた巡回指導等を実施するなど、シートベルト着用の浸透を図ったほか、自動車安全運転研修所の利用促進、無事故無違反運動開催等、交通安全思想の普及・高揚に努めた。</p> <p>また、平成10年には、地区安全運転管理者協議会役員として、高校生からなる交通安全自主活動組織「ヤングイーグル隊」の発足にも尽力し、交通安全活動に取り組むなど、事業所や若手の交通安全思想の普及・浸透に多大な貢献をしたものである。</p>

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	内 閣 府
氏 名	こさか しゅういちろう 小 坂 修 一 郎
住 所	秋 田 県 秋 田 市
職 業 等	無 職 (秋 田 県 交 通 指 導 隊 連 合 会 会 長)
功 績 の 概 要	昭和46年から現在までの長期にわたり、自主的に小中学校通学路における街頭交通指導に努めているほか、昭和57年からは、秋田市交通指導隊に入隊して地域の交通安全行事等に参画、平成9年には、高齢者に対する交通安全教育を実施する「教育班」を隊内に創設し活動するなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	内 閣 府
氏 名	こざき ふみこ 小 崎 富美子
住 所	滋賀県高島市
職 業 等	会社員 (滋賀県交通安全女性団体連合会会長)
功 績 の 概 要	<p>昭和52年から現在までの43年に亘り高島交通安全協会に所属し、その間に同協会理事、滋賀県交通安全女性団体連合会理事および同連合会副会長を歴任し、現在、高島交通安全協会女性部長、同協会副会長および滋賀県交通安全女性団体連合会長の要職を務めるなど、長年の多大な功績がある。</p> <p>また、自らが交通事故防止のための各種啓発活動に参画し、積極的に地域住民の交通道德の普及および交通事故防止対策の推進を図り、交通秩序の確立と交通安全の実現に寄与している。</p>

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	国 土 交 通 省
氏 名	たかはし てつろう 高 橋 哲 郎
住 所	新潟県柏崎市
職 業 等	主任海上安全指導員；無職
功 績 の 概 要	昭和49年から45年の長期にわたり、安全パトロール及び訪船指導等を積極的に行うとともに、安全啓発活動を通じて、小型船舶の安全運航や海難防止思想の普及・高揚に尽力し海上保安業務に多大な貢献をした。

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	警 察 庁
氏 名	たきぐち ひろし 滝 口 博 司
住 所	京都府京都市
職 業 等	株式会社近畿安全自動車学校取締役会長 (右京交通安全協会会長)
功 績 の 概 要	昭和60年から35年の長期にわたり右京(桂・太秦)交通安全協会の役員として、また、平成3年からは地域交通安全活動推進委員として、交通安全行事や広報啓発活動を通じて地域における交通安全意識・思想の普及に率先して取り組んできたほか、平成15年からは太秦警察署(現右京警察署)協議会委員及び会長を歴任、平成28年6月からは右京防犯協会理事にも就任し、管内の安全・安心なまちづくりの推進に多大な貢献を行っている。

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	警 察 庁
氏 名	たなか そういち 田 中 綜 一
住 所	広島県三原市
職 業 等	田中運輸株式会社 代表取締役会長 (三原交通安全協会会長)
功 績 の 概 要	<p>温厚な人柄で社員はもとより地域住民の信望は厚く、田中運輸株式会社の事業主として社員の交通安全指導に力を入れる傍ら、交通安全の重要性を深く認識し、昭和62年から長きにわたり地域における各種ボランティア活動等を通じて交通安全啓発活動を積極的に推進するなど、交通事故防止、交通安全思想の普及及び高揚に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	警 察 庁
氏 名	たむら かずひこ 田 村 一 彦
住 所	神奈川県相模原市
職 業 等	府川電機工業株式会社代表取締役社長 (神奈川県安全運転管理者会連合会理事)
功 績 の 概 要	昭和52年に地区安全運転管理者会の理事に就任して以来、地区及び県単位で安全運転管理者会の要職を歴任し、職域及び地域における交通安全意識の高揚と交通事故防止に多大な貢献をした。

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	警 察 庁
氏 名	ひらい としあき 平 井 敏 彰
住 所	静岡県浜松市
職 業 等	優良運転者(公職等なし) (パート)
功 績 の 概 要	昭和42年から現在に至る長期にわたり、企業の車両整備担当者として「車両の安全管理・維持」に努め、交通安全の重要性を自覚し、模範となる運転を実践し長きにわたり無事故無違反を継続している。

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	警 察 庁
氏 名	むらかみ やすつぐ 村 上 康 継
住 所	秋田県秋田市
職 業 等	秋田トヨタ自動車株式会社 取締役顧問 (秋田県安全運転管理者協会副会長)
功 績 の 概 要	<p>昭和63年勤務先の安全運転管理者に選任されてから現在に至るまで、同管理者として事業所における安全管理は勿論、交通安全について組織的運動の重要性を認識し、他の交通関係機関・団体と連携しながら積極的に取り組んでいる。</p> <p>特に秋田県の喫緊の課題である高齢者事故防止対策にも積極的に取り組み、県警の嘱託職員として全県各警察署に配置されている、高齢者安全・安心アドバイザーに高齢者用反射材を贈呈しているほか、街頭活動や協会活動を通じて事故防止啓発を図るなど、地区協会長として、また、県協会副会長として日々交通安全業務に腐心し、創意工夫を凝らし交通事故防止活動に尽力しており、県内の交通事故抑止に多大な貢献をしている。</p>

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	内 閣 府
名 称	えちぜんしこうつうあんぜんははのかい 越前市交通安全母の会
所 在 地	福井県越前市
代 表 者	かとう のぶこ 会長 加 藤 のぶ子
功 績 の 概 要	<p>平成18年4月「交通安全は家庭から」を合言葉に、母親の立場から交通安全を推進し、交通事故のない明るい平和なまちづくりに寄与することを目的に結成(合併前(前身)の組織 S44～)。結成後は、子どもには楽しみながら交通安全を理解できるようなクイズやゲーム等を、高齢者には身体機能の低下を実感できるような体操等を取り入れるなど、年代に応じた交通安全教室を市内各地で開催し、県内の交通事故の減少に貢献している。</p>

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	内 閣 府
名 称	ながのしろうじんくらぶれんごうかい 長野市老人クラブ連合会
所 在 地	長野県長野市
代 表 者	こんどう さだとし 会長 近 藤 定 利
功 績 の 概 要	昭和39年5月に発足し、警察署、交通安全協会、市、住民自治協議会等の関係機関及び団体と連携を図りながら、地域の実情に即した交通事故防止対策や交通安全対策を組織ぐるみで行っているほか、平成24年7月1日に「シニア・セーフティクラブ」を発足し、交通安全指導者の育成や地域の交通安全活動などに積極的に取り組んでおり、交通安全思想の普及と交通事故の防止に多大な功績が認められる。

功 績 概 要

〔学校安全関係〕

関 係 省 庁	文 部 科 学 省
名 称	あいちけんはんだしりつかめざきしょうがっこう 愛知県半田市立亀崎小学校
所 在 地	愛知県半田市
代 表 者	はまの ひろゆき 校長 浜野 洋行
功 績 の 概 要	<p>「子どもの心に火をつける学校」を目指し、『1. 地域と連携した活動』『2. 児童を主体とした活動』『3. 教職員や保護者に向けた研修』により、安全教育の推進に多大な貢献をした。</p> <p>『1. 地域と連携した活動』では、ユネスコスクール（防災・人材活用）の理念やコミュニティスクールの趣旨に基づき、「ボランティアパトロールやPTAによる登下校の見守り活動」「学校安全緊急情報共有化広域ネットワーク活用訓練」「亀崎地区防災キャンプ」などを実践した。『2. 児童を主体とした活動』では、「亀っ子防災隊」「防災フィールドワーク」「健康まつり」「防災講演会」などを実践した。『3. 教職員や保護者に向けた研修』では、「新転任者に向けたミニ現職研修会」「救急法講習会・シミュレーション訓練」「保健安全に関する夏季現職教育」「親子で学ぶ命と健康の学習」など、児童の生活安全に関する研修を実践した。</p>

功 績 概 要

〔学校安全関係〕

関 係 省 庁	文 部 科 学 省
名 称	いばらきけんたかはぎしりつあきやましょうがっこう 茨城県高萩市立秋山小学校
所 在 地	茨城県高萩市
代 表 者	せきね のりお 校長 関 根 紀 夫
功 績 の 概 要	<p>「夢をもち、自ら考え行動できる、心豊かでたくましい「秋山っ子」の育成」という学校教育目標の実現のためには、児童の健康・安全に対する意識を高め、自ら健康・安全を守る行動に結びつく「実践力」をはぐくむことがその大きな基盤となる。主体的に心身の健康づくりや安全のための行動に取り組む児童を育成するために、平成23～25年度の研究では、特に「多様な指導法の工夫」「児童会活動の工夫改善」「校種間連携」の3点に重点をおいて研究を進め、成果を上げた。その功績が認められ、平成26年に文部科学大臣表彰を受賞した。</p> <p>それらの成果を踏まえ、受賞後も継続して、安全教育に力を入れて学校運営に取り組んできた。令和元年度は、「想定を変えた各種避難訓練の実施」「防災事業を生かした体験活動の充実」「関係機関や保護者と連携した安全教育の充実」の3点に重点をおいた取組を行った。それらの取組を通して、児童の安全に対する意識を高め、実践力に結びつく知識を習得し、実践力をはぐくむことができた。</p>

功 績 概 要

〔学校安全関係〕

関 係 省 庁	文 部 科 学 省
名 称	<small>おおさかふおおさかふりつさかいこうかこうとうがっこうていじせいのかてい</small> 大阪府大阪府立堺工科高等学校 定時制の課程
所 在 地	大阪府堺市
代 表 者	<small>ひらた しんじ</small> 准校長 平 田 眞 二
功 績 の 概 要	<p>教育目標「自助・共助・公助」の下、安全・防災教育の充実をめざし、地域連携による「堺学」及び「東北支援プロジェクト」などを行うことにより、安全教育の推進に多大な貢献をした。被災地の支援を継続的に行うことにより、被災者より過分な感謝をいただいた。本校生徒・教員・地域住民が一丸となって支援に関わることで、地域の防災・安全教育について考え、意見交換をする機会を得た。また、被災地支援によって得た様々な知識・教訓を、校内をはじめ地域住民や府民にも「講演」等を通じて伝えた。同時に本校製作の「バイオディーゼル発電機」を地域の安全・防災のために役立てたり、生徒製作の成果物を配布しながら安全に関する啓発運動をして、防災や安全に対する関心を高めることに貢献した。その結果、本校を中心とした防災・安全の取組みが完成した。</p>

功 績 概 要

〔学校安全関係〕

関 係 省 庁	文 部 科 学 省
名 称	ぎふけんりつかもとくべつしえんがっこう 岐阜県立可茂特別支援学校
所 在 地	岐阜県美濃加茂市
代 表 者	ひらの としゆき 校長 平 野 俊 之
功 績 の 概 要	<p>学校教育目標「一人一人が笑顔で主体的に、地域で生活できる力を高める」のもと、「一人一人の可能性を最大限に伸ばし、生きる力を育て、社会に自立し、心身共に調和のとれた人間性豊かな児童生徒を育成する」ことを目指し、『安全教育』として「防災教材の開発と授業実践」「命を守る学校待機訓練（現：非常変災時対応訓練）」「交通安全教室」、『安全管理』として「防災環境部の設置」「多様な命を守る訓練」「危険等発生時対処要領（危機管理マニュアル）の作成」「職員研修の充実」、『組織活動』として「PTA夏祭り」「防災教育推進委員会の開催」などを行い、安全教育の推進に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

〔学校安全関係〕

関 係 省 庁	文 部 科 学 省
名 称	しずおかけんかけがわしりつおおすかちゅうがっこう 静岡県掛川市立大須賀中学校
所 在 地	静岡県掛川市
代 表 者	いしやま ちかし 校長 石 山 近
功 績 の 概 要	<p>学校経営目標「子どもたちの『安全・安心・確かな学力向上』の保障」を掲げ、「災害時に必要な知識や技術を学ぶ活動」「家庭や地域に目を向け実践力を高める活動」や「危機管理意識を高める活動」を行うことにより、安全教育の推進に多大な貢献をした。</p> <p>「災害時に必要な知識や技術を学ぶ活動」「家庭や地域に向け実践力を高める活動」として、避難訓練、放水体験、簡易救助法・搬送法、心肺蘇生法、DIG、HUG、心のケアに大変有効な手当てケアを計画的に進めた。</p> <p>また、「危機管理意識を高める活動」として、全教育活動に、生徒による「KYT（危険予知トレーニング）」と教師による「KY（危険予知）、RA（リスクアセスメント）」を位置づけ、年間を通じてその実践を積み重ねた。</p>

功 績 概 要

〔学校安全関係〕

関 係 省 庁	文 部 科 学 省
名 称	とやまけんひみしりつかいほうしょうがっこう 富山県氷見市立海峰小学校
所 在 地	富山県氷見市
代 表 者	ほりえ ゆういち 校長 堀 江 優 一
功 績 の 概 要	<p>教育目標「やさしく つよく かしこい子供の育成」の下、教職員・子供一人一人が危機管理意識を高くもち、「自分の命は自分で守ること、高学年は助け合えること」ができる子供の育成を目指して、全教育活動を通して、P T Aや地域、関係機関との連携を図りながら安全教育を行った。</p> <p>特に東日本大震災後、総合的な学習の時間を中心に防災教育に取り組んでいる。また、隣接した保育園との合同避難訓練を実施し、防災アドバイザーの助言を生かして改善を行うなど実践的な避難訓練を関係機関と連携して実施している。</p> <p>P T Aによる通学路点検、地域の安全パトロール隊による見守り活動、警察の協力を得た交通安全教室や自転車教室、不審者対応訓練、地域防災課と連携した原子力防災講習、ネット安全教室の開催等、子供の安全を見守る家庭や地域、関係機関の連携を強化し、学校安全推進に努めている。</p>

功 績 概 要

〔産業安全関係〕

関 係 省 庁	厚 生 労 働 省
氏 名	<small>にっぽんかやくかぶしきがいしゃ かしまこうじょう</small> 日本化薬株式会社鹿島工場
住 所	茨城県神栖市
職 業 等	<small>いわぶち じゅん</small> 工場長 岩 渕 淳
功 績 の 概 要	<p>工場長を総括安全衛生管理者として実効的な安全衛生管理体制を整備するとともに、創意工夫と労使の協力により安全衛生意識の高揚のための活動を実施し、昭和57年12月の操業開始以降37年にわたり無災害を継続している。</p> <p>製造過程で各種危険物などを取り扱っており、労働者の健康確保対策はもとより、爆発・火災災害のリスク低減に努めるとともに、物流事故などの緊急時対応を想定した計画的な訓練を行っている。</p> <p>また、労働安全衛生マネジメントシステムの導入により、自社内でPDCAサイクルによる安全衛生活動に係る取組を確立するほか、茨城県毒物劇物保安協会の理事等として模範たる取組を展開するとともに、地域の労働災害の防止及び産業安全水準の向上に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

〔火災予防関係〕

関 係 省 庁	消 防 庁
氏 名	おおはし そのこ 大 橋 園 子
住 所	岐阜県養老郡養老町
職 業 等	会計年度任用職員（調理員） （養老町女性防火クラブ連絡協議会会長）
功 績 の 概 要	<p>資性温厚、誠実にして責任感が強く郷土愛護の精神に富み、平成6年4月、養老町女性防火クラブ連絡協議会副会長に、また、平成10年4月には会長に就任して以来、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽くした。</p> <p>さらに、家庭防火を中心に防火思想を広め、旺盛なる指導力を持ってクラブ員の指導、育成、向上に尽力した。また、災害のない明るい町づくりに意を注ぎ、献身的な努力を行ってきた結果、養老町の安心・安全の普及啓発に多大な貢献を果たした。</p>

功 績 概 要

[火災予防関係]

関 係 省 庁	消 防 庁
氏 名	お せ としひこ 尾 世 敏 彦
住 所	東京都台東区
職 業 等	自営業（ホテル経営業） （上野災害予防協会会長）
功 績 の 概 要	<p>昭和50年6月に上野災害予防協会理事、平成17年5月に副会長、平成18年10月に会長代理、平成19年5月には会長に就任し、豊富な識見と卓越した指導力により会の発展に尽くしている。</p> <p>また、平成17年7月には鶯谷ホテル旅館組合長、平成17年8月には鶯谷中央商店会副会長、平成21年6月には鶯谷駅周辺町づくり協議会副会長、さらには東京鶯谷ライオンズクラブ第45代会長に就任され、数々の要職を通じ地域社会の発展に尽力するとともに、防火思想の普及・啓発について積極的に取り組み、台東区の消防・防災の指導者として活動するなど地域住民の信頼も厚く、地域の安全・安心に多大な貢献をしている。</p>

功 績 概 要

[火災予防関係]

関 係 省 庁	消 防 庁
氏 名	なかの みわ 中 野 美 和
住 所	高知県幡多郡大月町
職 業 等	自営業（大月海産） （高知県女性防火クラブ連絡協議会会長）
功 績 の 概 要	<p>平成13年11月、大月町婦人防火クラブ連絡協議会会長に就任して以来、会の育成発展を通して、防火思想の普及・啓発に長く尽力してきた。</p> <p>さらに、平成17年4月、高知県女性防火クラブ連絡協議会理事に、その後副会長を経て、平成25年5月に会長に就任して以来、豊富な識見と卓越した指導力により、大月町はもとより高知県の防災の指導者として活動しており、地域住民の信頼も厚く、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をし、会の育成発展に大きく寄与している。</p>

功 績 概 要

[火災予防関係]

関 係 省 庁	消 防 庁
氏 名	はやし ただのり 林 忠 範
住 所	福岡県久留米市
職 業 等	会社経営（設備工事業） （久留米消防設備士会顧問）
功 績 の 概 要	<p>平成10年4月、久留米消防設備士会副会長に就任し、消防設備士の地位の向上とその業務の進歩改善に努め、長期にわたる功績と責任感・行動力等が高く評価され、平成20年6月に会長、平成28年5月に顧問に就任し、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成・発展に尽力している。</p> <p>また、平成20年6月、筑後地区消防設備士会の会長も就任するなど、会の育成・発展を通して、久留米市民はもとより筑後地区住民の防火思想の普及・啓発に尽力し、地域の安全・安心で住みよいまちづくりに多大な貢献をしている。</p>

功 績 概 要

[火災予防関係]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	いっぱんざいだんほうじんおおさかふしょうぼうぼうさいきょうかい 一般財団法人大阪府消防防災協会
所 在 地	大阪府大阪市
代 表 者	にしの まさのり 理事長 西野正則
功 績 の 概 要	<p>昭和40年の消防法の一部改正により、消防設備士制度が導入されたことに鑑み、昭和42年8月に消防設備業に関係していた6団体が設備士制度の発展、従事者の指導育成を目的として任意団体「大阪府消防設備士連合会」を設立した。昭和51年8月、消防用設備等の設置、改修及び保守点検の円滑な推進と消防設備士、消防設備点検資格者、その他消防設備関係業務に携わる者の健全な育成を図るために、「財団法人大阪府消防設備協会」に移行。平成25年4月、公益法人3法の改正に伴い、一般財団法人大阪府消防防災協会」と名称を変更した。同時に、防火管理者講習会等を実施することに伴い防火、防災管理業務に従事する者の育成事業をも追加して育成を図っている。</p>

功 績 概 要

[火災予防関係]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	いばらちくきけんぶつあんぜんきょうかい 井原地区危険物安全協会
所 在 地	岡山県井原市
代 表 者	ふじわら ひろゆき 会長 藤 原 博 之
功 績 の 概 要	<p>危険物取扱者相互の連絡統一及び親睦を図るとともに、危険物の取り扱いに関する知識の向上並びに防災施設の整備に協力し災害防止に努め、もって地域産業の発展と社会公共の福祉の増進に寄与することを目的として、昭和38年に前身である井原市・芳井町危険物安全協会及び小田郡危険物安全協会が発足。昭和63年に合併し井原地区危険物安全協会として現在に至る。</p> <p>同協会は、発足当時から危険物事故防止に努め、各会員事業所においても危険物取扱者を中心に安全管理等の徹底を図り、危険物施設からの事故「0」を心掛けている。</p> <p>また、住民への防火思想の普及を図ることを目的とした団体に対して助成を行うなど、地域住民の防火・防災意識の高揚にも多大な功績がある。</p>

功 績 概 要

[火災予防関係]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	てんまふじんぼうかくらぶ 天満婦人防火クラブ
所 在 地	兵庫県姫路市
代 表 者	えだの ちえこ 隊長 枝野 千恵子
功 績 の 概 要	<p>昭和55年7月1日の結成以来、地域の安全や安心等の基盤づくりに女性が参画し、火災予防運動期間はもちろんのこと、あらゆる機会を捉えて地域住民と防火懇談会、防火訓練などを実施し、家庭及び地域の火災予防の普及啓発に努めている。</p> <p>また、消防機関などが実施する各種研修会及び防災訓練の諸行事にも積極的に参加し、防災意識の高揚を図っている。</p> <p>さらに、住宅用火災警報器の設置を促進するとともに、災害時避難困難者となる高齢者等とコミュニケーションを図り、有事の際、迅速な災害対応が出来るように地域一丸となって取り組んでいる。</p>

(連絡先)

内閣府大臣官房総務課管理室

〒100-8914

東京都千代田区永田町1-6-1

Tel 03-5253-2111 (内31220)